

[Ecology Miyazaki 2019 SUMMER]

eCOみやざき

環境ひむか

No.105

2019 夏号

未来のため気候変動への
適応について考えよう

環境
保全

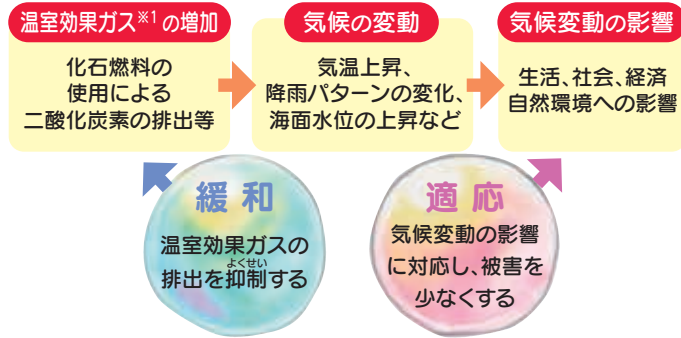
自然
保護

〔宮崎市加江田〕

木花・加江田みつばちの森づくり
子どもたちに残したい
花が咲き、昆虫が集う森

加江田溪谷

気候変動には「緩和」と「適応」の2つの対策が大事です。



※1 温室効果ガスには、二酸化炭素、メタン、一酸化炭素、フロンガスなどがあります。

気候変動の影響は今後さらに大きくなる可能性があります。私たちの暮らしを守るためには、温暖化の原因となる温室効果ガスを減らす「緩和策」と気候変動の影響に対処し、被害を少なくする「適応策」の両方に取り組む必要があります。

「緩和」と「適応」で対策を

気候変動から私たちの暮らしを守る適応策



さまざまな分野で考えられる適応策

農林水産業

品種開発や被害の予防策が必要です。

現状・将来予測	考えられる適応策
<p>品質低下 収穫低下</p> <p>コメ (白未熟粒) リンゴ (日焼け)</p> <p>※その他にもさまざまな農作物に影響があらわれています</p>	<p>高温耐性品種への変更 作付け時期の調整</p> <p>品質低下防止のための日よけ設置</p>

自然災害・沿岸域

起こりうる災害に備え、ハード・ソフト両面から対策を進めています。

現状・将来予測	考えられる適応策
<p>土砂災害 浸水被害</p>	<p>ハザードマップ (洪水被害予測地図) の確認 避難経路の確認</p> <p>治水安全度向上のためのハード整備 雨水貯留槽など</p>

健康

熱中症や感染症のリスクが高まるため、これまで以上の注意が必要です。

現状・将来予測	考えられる適応策
<p>熱中症 ヒトスジシマカが媒介するデング熱</p>	<p>こまめな水分補給 エアコンの適切な使用</p> <p>水たまりを作らない工夫 ヒトスジシマカへの注意</p>

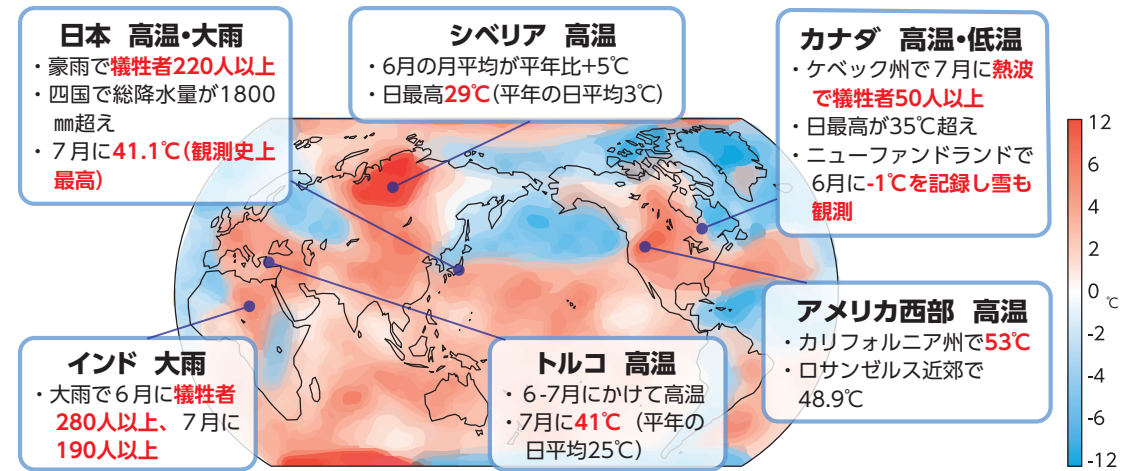
自然生態系

気候変動は自然生態系にも影響を与えるおそれがあります。

現状・将来予測	考えられる適応策
<p>希少な動植物絶滅の可能性 サンゴ (白化現象)</p>	<p>森林のモニタリング 野生動物の個体群管理</p>

出典：未来のために今をはじめよう！気候変動への「適応」 環境省地球環境局

世界の異常気象 (1981年-2010年の平均と比較した6月の平均気温差)



出典：「民間企業の気候変動適応ガイド 気候リスクに備え、勝ち残るためには」 環境省



異常気象は世界中で観測され、熱波や豪雨、干ばつなどが報告されています。日本でも1時間に100mmを超える豪雨や40度以上の猛暑など、生活に重大な影響を与えるレベルに達しています。

世界で観測される気候変動

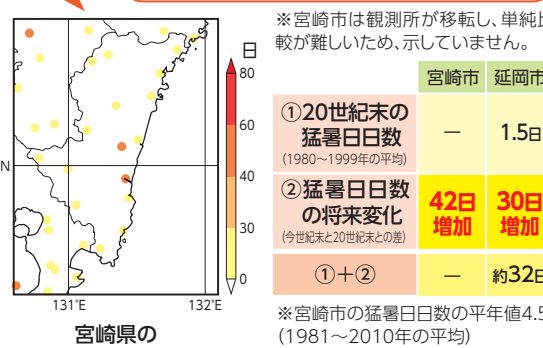
異常気象はなぜ起こる？

原因の一つは地球温暖化です。温暖化は温室効果ガスによって引き起こされ、中でも排出量の多い二酸化炭素が大きく作用しています。産業革命以降、人類による二酸化炭素排出量は飛躍的に増え、この100年で世界の年平均気温は約1℃上昇しています。対策が不十分だと21世紀末には20世紀末と比較して最大4.8℃上昇すると予測されています。

※1 現状の対策のままで温室効果ガスの排出が継続した場合の予測結果

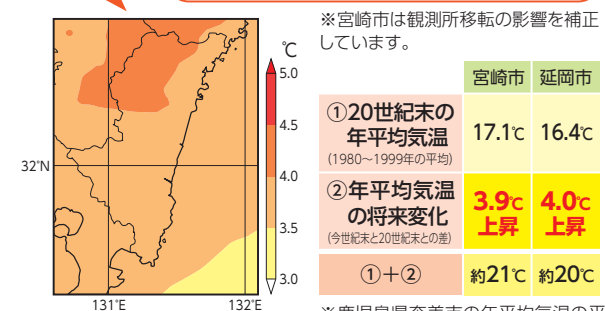
宮崎県でも進行する温暖化

将来予測 今世紀末には猛暑日が30日以上に



宮崎県の猛暑日の年間日数の変化 出典：「宮崎県の気候のこれまでとこれから」 宮崎地方気象台

将来予測 今世紀末には気温が3.5℃以上上昇



未来のため気候変動への適応について考えよう

私たちは今、これまでに経験のないような大雨や猛暑などの極端な気象現象(異常気象)に直面しています。こうした気候変動への適応についてみんなを考え、さまざまなリスクに備えましょう。

環境みやざき推進協議会だより

環境月間・環境の日キャンペーン

6月5日の「環境の日」を中心に、県内では様々な所で環境啓発イベントが行われました。

当協議会は、宮崎市主催の環境ミニフェア（6/4 イオンモール宮崎スペースコート）及び街頭キャンペーン（6/11 国富町式部の里）に参加し、環境保全チラシ等の配布により環境保全に関する普及・啓発を行いました。



▲街頭キャンペーン
▲環境ミニフェア

みやざきエコフェスティバル2019を開催しました

環境に配慮した生活や行動を実践していただくきっかけづくりとして、7月13日イオンモール宮崎にて「みやざきエコフェスティバル2019」を開催しました。

当日は、環境団体によるワークショップのほか、ボルトボルズによるサイエンスショーなど、子供から大人まで楽しみながら環境について関心と理解を深めていただく良い機会となりました。

- 日時：2019年7月13日(土) 10:00~17:00
会場：イオンモール宮崎 スペースコート
参加人数：約1,200人
- 内容
- ・エコクイズ等（宮崎市）
 - ・リサイクル工作(NPO法人みやざきエコの会)
 - ・ネイチャーゲーム（宮崎県シェアリングネイチャー協会）
 - ・世界に一つだけのエコバッグ（小林地球温暖化防止活動会）
 - ・紫外線発色ビーズでストラップを作ろう（宮崎ハマユウ会）
 - ・風呂敷の包み方講座（宮崎環境サポーター倶楽部）
 - ・ソーラーパッチ作製(NPO 法人ひむかおひさまネットワーク) など



▲バルーンエコの木



▲ボルトボルズによるサイエンスショー



環境みやざき推進協議会のご案内

環境みやざき推進協議会は、県民、事業者、行政等が協働して宮崎県域における地球温暖化防止等に関する様々な取組を推進しています。活動に御賛同いただける方の入会をお待ちしております。

会員募集中

会費無料

環境みやざき推進協議会事務局
TEL. 0985-51-2077 FAX. 0985-51-2086
E-mail: koueki@miyazaki-kankyo.or.jp

宮崎県気候変動適応センターを設置しました

宮崎県における気候変動の適応を一層推進するために必要な情報を取り扱う拠点として、6月27日に「宮崎県気候変動適応センター」を設置しました。センターでは、国立環境研究所などの関係機関と連携しながら、県内の気候変動の影響や適応に関する情報の収集・整理・分析を行うとともに、事業者や県民の皆さまへの情報提供に努めます。

お問い合わせ 宮崎県環境森林部環境森林課温暖化・新エネルギー対策担当
〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号
☎ 0985-26-7084



開所式の様子

あれも、これも、適応策
暮らしに生かそう！備えよう！

心がけひとつで、すぐに実行できる「適応策」はたくさんあります。まずはできることから始めてみましょう！

熱中症を予防しよう！

家の中でも熱中症になります。暑い時はエアコンを適切に使い、水をこまめに飲みましょう。外出時は帽子や日傘で日差しをガード。また湿度が高いとリスクが高まるため、湿度や暑さ指数も確認しましょう。



熱中症予防 声かけプロジェクト

「ひと涼みませんか」と声をかけあうことで、熱中症を予防しようとする試みが始まっています。家族、同僚、友人、近隣の人たちへの小さな心配り、始めてみませんか？

・出典 (熱中症予防声かけプロジェクト: <http://www.hitosuzumi.jp/>)



水を大切に使う！

温暖化によって、雨が降る日が少なくなる可能性があります。節水を心がけ、水は大切に使いましょう。



自然災害に備えよう！

降水日数の減少が懸念される一方で、豪雨や台風の大規模化が危惧されています。それにもなう災害に備えて、ハザードマップで避難の場所や経路を確認することも重要。非常食など備蓄も計画的に行いましょう。



虫刺されに気を付けよう！

気温上昇は熱帯地域の虫の北上を誘発するかもしれません。リスク回避のためには、蚊やダニにさらされないことが一番。虫よけスプレーや蚊取り線香を活用し、長袖で肌の露出を控えましょう。



季節を楽しむために

気候変動は、桜の開花やカエデの紅葉など季節の風物詩にも影響をおよぼしています。旅行などは季節情報を確認して計画を立てることも有効です。

・出典 (気候変動適応情報プラットフォーム: <http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/lets/people/page6.html>)



みやざきしかえだ
宮崎市加江田

木花・加江田みつばちの森づくり 子どもたちに残したい 花が咲き、昆虫が集う森

伐採後の山に、森づくりが始まりました。中心となっているのは養蜂業を営む岡みのりさん。ミツバチを通して、森の役割、農業とのかかわり、自然環境の大切さを伝えていきます。



人里近い、身近な場所にある山。急斜面で苗木をリレーしながら植樹を行った

ミツバチ目線で自然について考える



宮崎市加江田の中島地区。山の麓に集落があり、周囲には田んぼが広がります。「里山」を思わせる懐かしい風景です。しかし、山のほとんどはスギの人工林で、伐採後の荒れた山肌が目立つ場所もあります。山の所有者の高齢化が進み、伐採後に植樹が進まない現状があるからです。そんな光景を目の当たりにして、「子どもたちに豊かな森を見せてあげたい。」と自身も3歳の娘を持つ岡さんは植樹活動を始めました。

岡さんは養蜂家であるイタリア人の夫と4年前に宮崎に移住。自然のままの宮崎産蜂蜜を製造販売しています。ミツバチには花がたくさん咲く豊かな自然が必要です。また、川や沢の水が汚染されていけば、その水を飲んだ小さなミツバチは多大な影響を受けてしまいます。養蜂をやっているからこそ感じる、自然環境への危惧。生態系豊かで、清らかな水を生み出す森を取り戻したいという思いは強くなっていきました。

農業を営む矢野祐春さんとの出会いも大きなきっかけでした。植樹活動の場として持ち山を提供した矢野学生、市民など37名が参加しました。

みつばちの森の特徴は、樹種が多いこと。1ヘクタールの山に植えた木は24種類1055本。サザンカやヤブツバキなどの常緑樹、ヤマザクラやモミジなどの落葉樹、柿や梅、栗などの果樹も植えました。樹種が多いほど、生物多様性のある森になるからです。森づくりには長い歳月がかかりますが、ボランティアの力も借りて下刈りなどの管理を地道に行っていく予定です。矢野さん達は将来、遊歩道をつくり子どもたちが遊べる森にしたいと夢を膨らませています。一年を通していろんな花が咲き、実がなり、虫が集まる、賑やかで彩り豊かな森。そして麓にはレン

さんは、早期水稲稲作が中心のこの地域で普通作を行っています。目指すのは有機農法。例えば田んぼには肥料となるレンゲを植え、農薬を使用しない昔ながらの農業です。森にミツバチや昆虫が増えれば害虫を退治してくれるので、農薬の使用が少なくなります。また、受粉活動を通じて農作物も元気になるのです。森と農業は深く関わっているのです。「レンゲ畑が広がるのかな風景を取り戻したい」と思い描く矢野さんと岡さんの思いが重なったのです。

「ミツバチは受粉によって私たちの食卓を支えてくれる大きな存在。食物の三分の一、植物の70%はミツバチの受粉によってできているといわれています。」と岡さん。ミツバチが減ることは私たちの食生活に直結しているのです。ミツバチについて知ると、環境の変化が私たちの生活に大きく影響することが分かります。



木花・加江田みつばちの森づくり 代表
岡みのりさん (右)
中島水利組合長
矢野祐春さん (左)

ゲ畑が広がる風景を想像するとワクワクしてきます。

「ミツバチの世界を語ることで環境教育に積極的に関わっていきたい。」と岡さん。今後はもっと地域と連携し、子どもたちが参加できる講座や森づくりを行っていきます。次回の植樹は来年2月の予定。参加者を募ります。



幅広い年齢層のボランティアが参加。他の森づくり団体からの参加者も

自然保護推進員

私の自然保護活動



加江田渓谷の会 会長
渡邊 泰己 さん

地元の人こそ何度も訪れて 素晴らしさを知ってほしい

宮崎市の山と渓谷の魅力を伝えようと2012年に発足した「加江田渓谷の会」。山や自然が好きなメンバーが集まり、市民や観光客への加江田渓谷のガイドを中心に活動しています。照葉樹とスギの混合林に溪流があり、植生豊かな加江田渓谷には、希少植物も見られます。「昔は砂鉄から鉄の精錬や炭の製造が行われており、木材を運び出すトロッコ道もありました。人の暮らしが身近にあったことも特徴です。」と地元で生まれ育った渡邊さんは渓谷の魅力を語ります。ガイドでは渓谷の成り立ち、地質、植生や草花の話に歴史や民話を織り混ぜながら、興味を引くガイドを心掛けています。また、知識を深めるため、同会では毎月勉強会を開催。今は渓谷に多く生育しているコケ類とシダ類について勉強中です。「四季折々の表情があり森林浴できる豊かな場所。知ってもらうことで自然保護につながれば。この先も自然の営みを見守っていきたい。」と自然への愛情豊かに話します。



夏に花が咲くイワタバコ



▲沢が流れる山。木が生長すれば保水力が高まり災害にも強い山になる



▶新緑が力強く芽生え、変化に富んだ山になることを岡さんや矢野さんたちは期待している



モミジなど紅葉が楽しみな木も。今後はもっと樹種を増やす予定

24もの樹種 多様で個性ある森づくり



市民グループを立ち上げ、宮崎大学と共催で農学部森林緑地環境科学科教授による森とミツバチについて学ぶ講座を実施。2019年2月に植樹を行いました。「宮崎県森林づくり活動支援事業」の補助金と「県民1人1本みんなで植樹推進事業」の苗木提供事業を活用し、学生や留

インフォメーションスクエア



イベント名	日時	内容	場所	お問い合わせ・お申込み
山の日イベント「巣箱を作ろう」	8月11日祝	屋根を開けて、観察もできる巣箱をつくります。 定員:小中学生親子30名/参加費:材料代300円	森とのふれあい施設・森の科学館 (宮崎県林業技術センター内)	森の科学館 (宮崎県林業技術センター内) ☎0982・66・2004 ※実施日より約1ヶ月前から受付開始
夏休み親子木工教室 (自由木工)	8月12日(休)・18日(日)	オリジナルの木工作品をつくります。 定員:小中学生親子20名/参加費:材料代300円～		
草木染め教室	9月23日祝	定員:一般40名/参加費:絹布1,200円	(美郷町)	
親子木工教室	8月3日(土)・12日(休)	定員:400名/参加費:材料代300円～		
秋! ウェルカムイベント～シルバーウィーク～	9月14日(土)～16日(祝)	定員:200名/参加費:利用料実費:材料代実費	ひなもりオート キャンプ場(小林市)	宮崎県ひなもり台 県民ふれあいの森・ ひなもりオートキャンプ場 ☎0984・23・8100
紅葉キャンプ～アウトドア料理教室～	10月12日(土)～14日(祝)	定員:150名/参加費:利用料実費:材料代実費		
おほはたいげ 大幡池登山～紅葉観察～	10月30日(水)	定員:20名/参加費:無料	宮崎県ひなもり台 県民ふれあいの森 (小林市)	※実施日より約1ヶ月前から受付開始
谷川と遊ぼう! 夏の自然発見	8月18日(日)	定員:こども・大人合わせて30名/参加費:無料 講師:ネイチャーゲーム指導員		
草木染め教室	9月22日(日)	定員:大人30名/参加費:無料 講師:茶臼原自然芸術館職業指導員	川南遊学の森 (川南町)	(公社)宮崎県緑化推進機構 ☎0985・31・7759 ※実施日より約2ヶ月前から受付開始
カズラ細工教室	10月27日(日)	定員:大人30名/参加費:無料 講師:カズラ細工技能者		
採集作品の名前を調べる会	8月17日(土) 9:00～15:00(受付14:30まで)	夏休みに採集した植物・昆虫・貝・岩石・化石の名前を調べます。対象:小学生以上/参加費:無料	宮崎県総合博物館 (宮崎市)	
さがそう! 干潟のへんてこ生きものたち	9月1日(日) 10:00～12:00	定員:小学生以上40名/参加費:無料 申込期間:8月4日(日)～8月18日(日)	塩見川河口 (日向市)	宮崎県総合博物館 ☎0985・24・2071 ◎申込み方法はホームページで確認を
むかばやま 行藤山でこの観察をしよう	9月28日(土) 10:00～12:00	定員:小学生以上25名/参加費:無料 申込期間:8月31日(土)～9月14日(土)	行藤山 (延岡市)	
南郷・祇園崎の海岸地形と地層を 観察しよう	10月27日(日) 13:00～15:00	定員:小学生以上20名/参加費:無料(小学生は保護者同伴) 申込期間:9月29日(日)～10月13日(日)	祇園崎 (日南市)	
小魚すくい大会	9月15日(日) 13:00～15:00	定員:当日先着100名/参加費:200円	大淀川学習館 (宮崎市)	(公財)宮崎文化振興協会 大淀川学習館 ☎0985・20・5685 FAX0985・22・8481 ※実施日より約2ヶ月前から14日前まで受付 ◎申込み方法はホームページで確認を
ハーブティーを楽しもう!	10月20日(日) 10:00～11:30	定員:どなたでも20名/参加費:200円 ※要事前申し込み		

県の環境教育関係窓口のご案内 (相談窓口)

環境分野担当窓口	課・担当	電話番号 (直通)
環境全般	環境情報センター	☎0985-23-0322
地球温暖化 省エネルギー・ 新エネルギーなど	環境森林課 温暖化・新エネルギー対 策担当	☎0985-26-7084
森林環境教育	環境森林課 豊かな森林づくり担当	☎0985-26-7153
ごみ減量 リサイクルなど	循環社会推進課 企画・リサイクル担当	☎0985-26-7081
水環境保全	環境管理課 水保全対策担当	☎0985-26-7085
野生動植物、 自然保護など	自然環境課 野生生物担当	☎0985-26-7291

宮崎県環境情報センター

環境学習なら宮崎県環境情報センターへ



宮崎県立図書館1Fにある宮崎県環境情報センターでは、環境に関する資料の閲覧ができるほか、環境教材の貸出や環境保全アドバイザーの派遣、リサイクル工作などの環境講座や出前研修、次世代エネルギーパークの見学受付なども行っています。

利用時間	9時～19時
休館日	月曜日(祝日の場合、翌日以降の最初の平日)、 年末年始、図書館整理及び特別整理期間
住所	〒880-0031 宮崎県宮崎市船塚 3-210-1 宮崎県立図書館1F TEL0985-23-0322 FAX0985-26-4720
E-mail	kankyojyoho@coral.ocn.ne.jp
H P	http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/center/

「ecoみやざき」に関するご意見・ご感想をお聞かせください

[発行・お問い合わせ先]

宮崎県環境森林部 環境森林課

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号
TEL.0985-26-7084 FAX.0985-26-7311

環境みやざき推進協議会

(事務局:公益財団法人宮崎県環境科学協会内)
〒880-0911 宮崎市大字田吉 6258-20
TEL.0985-51-2077 FAX.0985-51-2086



みやざきの環境ホームページアドレス <http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/>

